

き ず な

す げん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

** 嬉野温泉駅ボランティア清掃 ** 7月19日(日) たくさんの参加がありました、皆さん、ありがとう!!



仲良く窓拭きです！

梅雨が明けたと思ったら、連日、暑い日々が続きます。たまには、昔のように、雷が鳴ってもいいから、大切に育てている花や野菜たちのためにも、夕立くらいあってもよさそうです。

今回の清掃には、夏休みに入ったので、学校を通して小中学生にも参加を呼び掛けていました。そしたら、当番部会の皆さんより、親子での参加の方が多くて、中には家族6人での参加も、ビックリするやら、とても嬉しいやらで、とても幸せな気持ちになりました。

最初、掃除の方法などを少しお話してから、いざ掃除開始です。子ども達が、われ先

にと掃除道具に向かって、自分ができる道具を手にとってくれました。子ども達は、2階のホームにも行きたそうにしていたのですが、残念ながら、安全面から我慢してもらいました。お父さんやお母さんと一緒

に参加し、公共の場所を自分の手でキレイにしていくことの意味を、子ども達はどうか

とらえてくれたでしょうか？ 家に帰ってからも、保護者の方には子供との会話の中で感想を聞いてもらえたらと思います。そして、また次につながるように、ボランティア清掃の意味を伝えていただきたいと思います。そうすることで、子ども達は、成長過程の中で社会との関わりを少しずつ学んでいくと思います。



こんなところまで拭いてくれました！



駅長さんからお礼の言葉と差し入れが！

次回予定、9月27日(日)です。当番部会は、環境整備部会と地域づくり部会の皆さんになります。部会員以外の参加も歓迎です。

初代駅長が大草野小学校卒業生なので応援しよう！と始めたボランティア清掃ですが、各地域で行われている活動と同じように、清掃活動のもともとの意味は忘れないようにしながら、今後も、皆さんの理解を得ながら、楽しく続けていけたら、と思います。



子ども達、本当にありがとう！また来てください。

防災広場（8年度3回目）の除草作業（7月25日:土）

令和2年から始まった防災広場草刈隊の作業では、この日が一番暑い日だったと思います。このところ、35℃を超える猛暑日が続き、熱中症警戒アラートも出ています。しかし、雑草は猛暑日も元気です。

今回、12人も参加してもらい、ホタル人工池からはじめて、ここは30分ほどで終わりました。給水タイムをしっかりとって、参加者から、人数が多いので、防災広場と学校と2組に分かれよう、という意見が出て、学校に5人、防災広場に7人と別れました。この時間帯が最も熱く、下を見ながら背中から受ける太陽の熱で、頭がクラ



ーとなりそうでした。学校グラウンドの草刈隊が一足早く戻ってきました。学校にはプロフェッショナルが多く行ってくれていましたので、けっこう生い茂っていましたが、さすがの仕事ぶりです。11時前にすべて終えて解散しました。暑さが異常です、外の作業には、皆さん十分気を付けてください。

大草野小学校創立150周年記念事業(11月8日:日予定) 準備進行中!

記念事業開催のための実行委員会が組織されて、すでに4回の実行委員会が開催されました。

式典内のそれぞれの担当を決めて少しずつ準備が進められています。これは、プログラムの中のひとつ、大草野小学校卒業生へのインタビュー風景です。



令和8年度「かかし祭り」の展示テーマが決まりました!

7月の役員会で「大草野小学校創立150周年に寄せて」というテーマに決まりました。「・・・150周年の思い出」とするか、または、「・・・150周年に寄せて」のどちらかが良いかを話し合いましたが、「・・・寄せて」の方が選択肢が広く、各部会のテーマを決めやすいだろう、ということになりました。極端に言えば、大草野の150年間の出来事から選んでいけばいいのかなと思います。皆さん、今年のかかし祭りを、ぜひ成功させましょう!

〈編集後記〉
「ワールドカップが終わった」

4年に一度のサッカーワールドカップは、スペインの優勝で幕を閉じた。大会のたびに、試合以外の部分を含めて華やかさが増しているようだ。我が国、日本は、ブラジルに逆転負けという結果で終わった。

「逆転負け」である。ということは、しばらくは日本がリードしていた状況があった、ということ、ほんのひと昔前まで、ブラジルに勝っている状態があるなんて、あまり考えたことが無かった。これは、日本選手が世界各地でプレーすることが増えた結果だろうと思う。やっぱ、「井の中の蛙」では世界レベルの選手になることは難しいし、そして、勤勉な日本人だからこそ為せた結果だと思う。

大会期間中、そして終わってもSNS上では、「評論家?」の人達が多い。特に、負けたときの犯人捜しのようないろんなことがいつまでも行われている。自分自身も、リフティングさえできないような人達が、結果論で、「ああだこうだ。」とか「誰誰がしくじった!」という意見を投稿している。

応援だけに専念すれば、見苦しくないものを、本当に残念だ。

私は、自分が経験も無く、うまくも無い競技の評価はしないことにしている、そんなことをすれば嘲笑を受けるのがおちだ。少なくとも、彼らがあのピッチに立つために、どれだけの時間を費やし、汗や涙を流してきたかを想像できる人でいたいと思う。残酷だが、どんなに頑張っても、勝敗は付きまとう。それを覚悟のうえで言うのが試合というものだろう。

今大会は、いんちきランプの姿が見えなければ、もつと良い大会だと思えただろうが、それが残念だった。